

海外研究助成成果発表会

チュラロンコン大学: 第2回研究助成成果発表会

日時 平成6年1月14日(金)10:00~17:30
場所 同大学 中央講堂コンファレンスルーム
テーマ「環境の保全技術」

開会式では、ステップ・アターコーン高等教育省大臣が祝辞を述べられた。参加者は約60名で、会場が満席となる盛会だった。タイの環境問題について水質汚染対策と大気汚染防止に関連する研究の成果が発表され、特にタイ中央部を流れるチャオ・プラヤ河の水質浄化対策の課題、河口付近の汚染土壌の堆積問題、また、タイ特有の植物を原料とする水に溶ける高分子材料など身近な問題が注目された。

- (1) トオンシャイ・パンサワ環境工学部教授
特別講演「タイの水質汚染—現状・効果的測定・将来の方向—」
- (2) タチャイ・スミツ博士
「高速中性子放射化法による大気中のフッ素の測定」
- (3) ウィワット・タンタパーニッチャクン教授
「ゼオライト型触媒を用いたチオフエンの還元脱硫法の研究」
- (4) スダー・キエツカムジョーウオン博士
「タピオカ粉末から製造する水溶性高分子の開発」
- (5) サシソーン・ブーンロング博士、ジルドサク・シェイクナ博士
「チオフエンの還元における窒素化合物の効果」
- (6) スチャリット・クーンタナクルフォング博士、スータット・ピサクル博士
「河口周辺の潮流と波の数学モデル」

